



↑獅子島の4地区に配備された発電機

非常用発電機を配備 もしもの場合に備えて

10月、町では、平成25年度宝くじ助成金で、獅子島の4つの自主防災組織へ非常用発電機を配備しました。

これは、災害などで各集落が孤立した場合の電源確保や、自主防災組織の訓練などの防災活動のために配備したものです。

幣串自主防災会の池田卓男会長は「近年、国内では津波やゲリラ豪雨といった大災害が多く発生している。災害時や自主防災組織の訓練など有効に活用したい」と話しました。

傷ついたトンビを保護 元気になって飛び立って

10月28日早朝、赤瀬清掃社（赤瀬宏之社長＝指江集落）の駐車場で、羽を傷つけたトンビが発見されました。

赤瀬さんが出勤し、事務所前の駐車場に車を止めようとする中、場内を跳びはねるトンビを見つけました。近づいてみると、トンビは片方の羽が折れていて、飛び立つことができませんでした。赤瀬さんはコンテナの中に保護し、すぐに獣医に電話し、同日午後、無事に町内の獣医に引き取られました。

赤瀬さんは「最初は保護しようか迷ったが、放っておくのはかわいそうだった。けがをした原因はわからないが、元気に飛び立てるよう早く回復して」と、見守りました。



↑コンテナの中で一時保護されたトンビ

↓スパイクが決まると、館内には仲間から歓声があがる



第8同期生対抗バレーボール大会 親睦深め、ボール追う

10月21日から11月1日にかけて、第8回同期生対抗バレーボール大会が、町総合体育館でありました。

同級生でチームを組み、先輩後輩らのチームと争うこの大会に、町内の43チームが参加しました。39歳以下と40歳以上の2部に分かれて、連夜熱戦が繰り広げられました。

優勝は、39歳以下が53年生まれの「キングダッシュA」チーム、40歳以上が45年生まれの「生活部」チームでした。